



11/6 磐田駅前を鮮やかに彩る



▲ランウェイを歩きポーズを決めるモデルの皆さん

JR磐田駅北口多目的広場でイルミネーション点灯式が行われ、広場は鮮やかな光で彩られました。

イルミネーション点灯式の後には、同広場で初のファッションショーとなる「磐田オータムコレクション」が開催されました。

学生や一般公募のモデル80人が市の特産品である別珍、コーデロイなどの「遠州織物」を使った衣装を身にまとい、ランウェイをさっそうと歩きました。

10/31 希望の灯で磐田を明るく



▲少し遅めの花火大会を楽しむ親子連れ

市民の幸せと新型コロナウイルス感染症の収束を願い、竜洋海洋公園で「幸せの手持ち花火大会」が行われました。会場には親子連れなど約1,000人が訪れ、検温や名簿提出などコロナ対策を実施した上で、グループごとに距離をとり、水面に映る夕日を眺めながら手持ち花火を楽しみました。

フィナーレでは75発の打ち上げ花火もあり、参加者は思いがけない演出に歓声を上げて楽しみました。

11/10 ALTと英会話を実践



▲ALTとの会話でコミュニケーション能力を磨く生徒たち

今年度も英会話を楽しむことでコミュニケーション能力の向上を図る活動「S.P.E.A.K」が、市立中学校全校で開催されました。磐田第一中学校では、3年生138人が事前に考えたテーマについて一人ずつスピーチしたり、訪問した市の外国語指導助手(ALT)やグループのメンバーと英会話を楽しんだりしました。生徒からは「英語の楽しさを実感しました。良い機会でした」との感想がありました。

11/5 段ボールベッドで避難者を支援



▲協定書を取り交わした渡部市長と立田工場長(右)

磐田市と総合物流業の株式会社大村総業磐田工場は「災害時の支援に関する協定書」を締結しました。

発災時には、大村総業が開発した耐久性に優れた強化段ボール製の「段ボールベッド」などを提供していただきます。

同社の浅田管理統括取締役は「災害時には、当社製品を磐田の皆さんのために役立てていただければ光栄です」と話しました。



11/21 「私が市長なら」高校生が政策提案



▲市内5校から7グループの生徒が企画を提案しました

高校生が柔軟な発想や創意工夫で磐田市の抱える課題の解決や将来のまちづくりに取り組むヤング草莽塾。「私が市長です！〇〇なまちをつくります！」をテーマに7月から調査研究してきた成果を発表する機会として、企画提案発表会が行われました。

最優秀賞には若者向けにSNSを活用した市の知名度向上のアイデアを提案した磐田南高校のグループ名【平均通学時間44分48秒】が選ばれました。

11/11 “火の用心”をお願いします！



▲村松教育長（左）に受賞を報告する青山さん（中央）

令和2年度静岡県防火ポスター審査会で、最高位の「金賞」を受賞した磐田中部小学校6年の青山実侑さんが、村松教育長を表敬訪問しました。

青山さんの作品は、9月に実施された磐田市防火ポスター審査会で、総数105点の中から「磐田市消防長賞」に選ばれ、県ポスター審査会に出品されました。

ポスターは本年度の秋季全国火災予防運動に合わせ、県内全域に配布されました。

11/28 熱く華麗にダンスを披露



▲老若男女が熱いダンスを披露しました

11月28日と29日の2日間、今年で8回目となるダンスイベント「磐田ダンスエポリューション2020」が竜洋なぎの木会館で行われました。

本年度はコロナ対策を実施した上で、昨年度より出演チーム数を減らし、来場は出場者の関係者のみに限定しての開催となりました。

当日は市内小学生や市内外の高校ダンス部、一般チームが出演し個性あふれるダンスを披露しました。

11/13 地域の特産品を味わおう！



▲地域の方とおいしい料理を味わう園児たち

豊岡こども園では、地域の特産品であるエビイモなどを地域の民生委員の方と一緒に調理し味わう「収穫祭」を開催しました。

当日は、年長児が地域の方の指導でエビイモやダイコンを包丁で切り、おでんを作りました。

参加した民生委員の平野常男さんは「コロナの影響でこのような交流の機会が減っていたので、園児の皆さんから元気をもらいました」と話しました。